



2018年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年4月27日

上場会社名 株式会社電通国際情報サービス
 コード番号 4812 URL <https://www.isid.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 2018年5月11日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 釜井 節生
 (氏名) 酒井 次郎
 TEL 03-6713-6160

(百万円未満切捨て)

1. 2018年12月期第1四半期の連結業績(2018年1月1日～2018年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年12月期第1四半期	21,217	6.6	2,217	31.6	2,242	28.3	1,538	11.2
2017年12月期第1四半期	19,901	1.1	1,685	16.9	1,748	17.2	1,383	13.8

(注) 包括利益 2018年12月期第1四半期 1,433百万円 (10.2%) 2017年12月期第1四半期 1,300百万円 (8.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年12月期第1四半期	47.21	
2017年12月期第1四半期	42.45	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年12月期第1四半期	71,976	48,342	67.1
2017年12月期	72,003	47,800	66.3

(参考) 自己資本 2018年12月期第1四半期 48,321百万円 2017年12月期 47,771百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年12月期		25.00		27.00	52.00
2018年12月期					
2018年12月期(予想)		28.00		28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年12月期の連結業績予想(2018年1月1日～2018年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,941	3.5	3,211	2.5	3,243	1.0	2,224	20.6	68.28
通期	88,000	5.5	7,000	27.5	7,034	24.7	4,807	8.3	147.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年12月期1Q	32,591,240 株	2017年12月期	32,591,240 株
期末自己株式数	2018年12月期1Q	8,579 株	2017年12月期	8,470 株
期中平均株式数(四半期累計)	2018年12月期1Q	32,582,702 株	2017年12月期1Q	32,582,770 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は4ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

単位：百万円

	2017年12月期 第1四半期累計	2018年12月期 第1四半期累計	増減額	増減率
売上高	19,901	21,217	+1,316	+6.6%
営業利益	1,685	2,217	+532	+31.6%
営業利益率	8.5%	10.4%	+1.9p	—
経常利益	1,748	2,242	+494	+28.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,383	1,538	+155	+11.2%

当第1四半期連結累計期間(2018年1月1日～2018年3月31日)におけるわが国経済は、海外における不安定な政治・経済情勢等から先行きに不透明感はあるものの、企業収益や雇用情勢の改善、輸出の拡大や個人消費の持ち直し等を背景に景気は緩やかな回復が継続しました。情報サービス産業におきましても、企業の情報化投資への需要が高まる中、概ね良好な事業環境が継続しました。

かかる状況の下、当社グループは、ソリューションの差別化ならびに業績の拡大を目指し、2016年度からの3ヵ年を対象とした中期経営計画「ISID Open Innovation 2018『価値協創』」を推進しております。計画最終年度となる当連結会計年度は、「Society5.0の実装・実現に向けて」を新たな行動ビジョンとして掲げ、当社グループにとって過去最高となる売上高880億円、営業利益70億円の達成、ならびに中期経営計画目標に掲げた営業利益率8.0%の実現を目指します。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比増収の21,217百万円(前年同期比106.6%)となりました。当社グループが展開する4つの事業セグメントのうち、エンジニアリングソリューションセグメントならびにコミュニケーションITセグメントが増収を牽引しました。

利益面では、増収による効果に加え、コンサルティングサービスおよびソフトウェア製品を中心に売上総利益率が向上したことから、営業利益は2,217百万円(同131.6%)、経常利益は2,242百万円(同128.3%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,538百万円(同111.2%)といずれも前年同期比増益となりました。

事業セグメント別の売上高、営業利益および営業の状況は以下のとおりです。

■事業セグメント別売上高および営業利益

単位：百万円

事業セグメント	2017年12月期 第1四半期累計			2018年12月期 第1四半期累計			増減額	
	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益
金融ソリューション	5,078	440	8.7%	4,948	336	6.8%	△130	△104
ビジネスソリューション	4,437	218	4.9%	3,908	190	4.9%	△529	△28
エンジニアリング ソリューション	6,476	593	9.2%	7,678	1,031	13.4%	+1,202	+438
コミュニケーションIT	3,909	432	11.1%	4,682	658	14.1%	+773	+226
合計	19,901	1,685	8.5%	21,217	2,217	10.4%	+1,316	+532

■事業セグメント別営業の状況

金融ソリューション

金融機関の各種業務を支援するITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第1四半期連結累計期間は、主要顧客向けのシステム開発売上が、海外現地法人において拡大したものの、国内における大型案件ピークアウトの影響により伸び悩み、売上高は減収となりました。利益面につきましても、減収に伴い減益となりました。

ビジネスソリューション

基幹システムや経営管理分野を対象としたITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第1四半期連結累計期間は、人事管理ソリューション「POSITIVE」等のソフトウェア製品販売が堅調に推移したものの、主要顧客向けシステム開発案件ならびにソフトウェア商品販売の大型案件の終了に伴う反動減の影響等により、売上高は減収となりました。利益面につきましても、減収に伴い減益となりました。

エンジニアリングソリューション

製造業の製品開発・製造分野を対象としたITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第1四半期連結累計期間は、3次元CADシステム「NX」ならびに製品ライフサイクル管理（PLM）ソリューション「Teamcenter」を中心としたソフトウェア商品販売が電機・精密業界、機械業界向け等に拡大しました。また、構想設計ソリューション「iQUAVIS」をコアとしたMBD導入支援ソリューションの提供が自動車業界向けを中心に堅調に推移したことから、売上高は増収となりました。利益面につきましても、増収に伴い増益となりました。

コミュニケーションIT

電通グループに対する基幹システムの提供、ならびに電通グループとの協業によるITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第1四半期連結累計期間は、電通グループ向けのシステム開発ならびにアウトソーシング・運用保守が拡大しました。また、電通グループとの協業によるビジネスがデジタルマーケティング領域を中心に堅調に推移したことから、売上高は増収となりました。利益面につきましても、増収に伴い増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における資産の部は、主として預け金の減少や前渡金及び仕掛品の増加により流動資産が174百万円減少した一方、主として有形固定資産の増加により固定資産が146百万円増加した結果、前連結会計年度末の72,003百万円から27百万円減少し、71,976百万円となりました。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債の部は、前受金等の減少により流動負債が625百万円減少した一方、固定負債が56百万円増加した結果、前連結会計年度末の24,203百万円から570百万円減少し、23,633百万円となりました。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の部は、その他の包括利益累計額が減少した一方、利益剰余金が増加した結果、前連結会計年度末の47,800百万円から542百万円増加し、48,342百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期(累計)および通期業績予想につきましては、2018年2月9日に発表した予想より変更はありません。

※予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,369	3,506
受取手形及び売掛金	18,706	18,608
商品及び製品	107	95
仕掛品	1,318	1,747
原材料及び貯蔵品	21	19
前渡金	6,548	7,319
預け金	27,276	25,748
その他	1,964	2,092
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	59,311	59,137
固定資産		
有形固定資産	3,243	3,358
無形固定資産	2,849	2,864
投資その他の資産		
投資その他の資産	6,599	6,616
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	6,598	6,615
固定資産合計	12,692	12,838
資産合計	72,003	71,976
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,086	6,126
未払法人税等	1,326	1,030
前受金	7,790	6,969
受注損失引当金	622	554
その他	6,124	6,643
流動負債合計	21,950	21,325
固定負債		
退職給付に係る負債	15	16
資産除去債務	895	895
その他	1,341	1,396
固定負債合計	2,252	2,308
負債合計	24,203	23,633

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,180	8,180
資本剰余金	15,285	15,285
利益剰余金	23,897	24,555
自己株式	△29	△29
株主資本合計	47,334	47,992
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96	80
為替換算調整勘定	340	248
その他の包括利益累計額合計	436	328
非支配株主持分	28	21
純資産合計	47,800	48,342
負債純資産合計	72,003	71,976

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)
売上高	19,901	21,217
売上原価	13,498	14,077
売上総利益	6,403	7,140
販売費及び一般管理費	4,717	4,922
営業利益	1,685	2,217
営業外収益		
受取利息及び配当金	8	10
持分法による投資利益	1	1
保険配当金	42	48
雑収入	21	9
営業外収益合計	73	70
営業外費用		
支払利息	3	5
為替差損	3	18
投資事業組合運用損	2	19
雑損失	0	0
営業外費用合計	10	44
経常利益	1,748	2,242
税金等調整前四半期純利益	1,748	2,242
法人税、住民税及び事業税	947	1,107
法人税等調整額	△585	△406
法人税等合計	361	701
四半期純利益	1,387	1,541
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,383	1,538

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)
四半期純利益	1,387	1,541
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	△16
為替換算調整勘定	△82	△91
その他の包括利益合計	△87	△107
四半期包括利益	1,300	1,433
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,296	1,430
非支配株主に係る四半期包括利益	4	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年1月1日至2017年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	金融 ソリューション	ビジネス ソリューション	エンジニア リング ソリューション	コミュニ ケーション IT	合計
売上高					
外部顧客への売上高	5,078	4,437	6,476	3,909	19,901
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,078	4,437	6,476	3,909	19,901
セグメント利益	440	218	593	432	1,685

(注)セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	金融 ソリューション	ビジネス ソリューション	エンジニア リング ソリューション	コミュニ ケーション IT	合計
売上高					
外部顧客への売上高	4,948	3,908	7,678	4,682	21,217
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,948	3,908	7,678	4,682	21,217
セグメント利益	336	190	1,031	658	2,217

(注)セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年3月31日)における生産実績を事業セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業セグメント	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
金融ソリューション	3,883	94.6
ビジネスソリューション	2,461	89.6
エンジニアリングソリューション	1,675	131.4
コミュニケーションIT	1,697	106.5
合計	9,718	99.9

(注) 1. ソフトウェア製品アドオン開発及びソフトウェア商品アドオン開発には導入技術支援サービスが含まれております。

2. 金額は、販売価格に換算して表示しております。

3. 金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第1四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年3月31日)における受注状況を事業セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業セグメント	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
金融ソリューション	5,242	101.3	5,508	104.9
ビジネスソリューション	4,098	88.7	6,184	93.8
エンジニアリングソリューション	10,114	119.2	10,873	119.3
コミュニケーションIT	6,901	87.0	6,701	97.3
合計	26,357	100.6	29,267	105.1

(注) 1. 2018年12月期より全サービス品目を対象とした数値に記載を変更しております。

2. 金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年3月31日)における販売実績を事業セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業セグメント	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
金融ソリューション	4,948	97.4
ビジネスソリューション	3,908	88.1
エンジニアリングソリューション	7,678	118.6
コミュニケーションIT	4,682	119.8
合計	21,217	106.6

(注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、以下のとおりであります。

相手先	前第1四半期連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年3月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	
	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)
株式会社電通及び そのグループ会社	2,885	14.5	3,761	17.7